

2022.5.19～5.20

与論中学校 ゆんぬ学

5月19日(木)・20日(金)の2日間、与論中学校の1年生を対象に海洋教育科「ゆんぬ学」の授業が行われました。今回のテーマは『海洋ごみ』です。与論島の海洋ごみ問題の解決に携わっている方々をゲストティーチャーとしてお招きし、それぞれのご専門分野から学ばせていただきました。

海謝美(うんじゃみ)さんからは、実際に与論の浜辺で拾ったものを見せていただきながら、「これ何だと思う？どこから来たものかなあ？」と、みんなで考察。海流はどのように巡って日本の砂浜にたどり着くのか、日本から出た漂流ごみはどこに漂着するのかなどについて学びました。

午後は実際に浜辺で海岸清掃活動。かつて重しに使われていたタイヤを見付け、みんなで縄を解いて回収しました。一人では運び出せないものも、力を合わせれば運び出せる。海謝美さんがこのような活動を毎日続けてくださっているからこそ、与論の海がきれいに保たれているということを実感しました。

E-Yoronの池田さんからは、使い捨て思考がプラスチック排出量を増やし、浜辺のマイクロプラスチック問題につながっていることを学びました。

そして、海に囲まれた与論島は、今世界で起きている問題に直面することができる貴重な環境にあること、その問題に対峙し、自分たちでどのような行動を起こしていくかを考えることが大切だということに気付くことができました。

このような学びを得られるのも「ゆんぬ学」だからこそ。

今回の学びが生徒たちの探究テーマにどのように影響していくのか、今後が楽しみです。

